

みやざき地頭鶏作出試験

奥山正孝・興侶典光・養毛良幸・鈴木祥夫
(宮崎県畜産試験場川南支場・宮崎県畜産会)

Masataka OKUYAMA, Norimitsu KUROGI, Yoshiyuki MINOMO and Yoshio SUZUKI :
A comparison of Jitokko, Jitokko Dominant White Plymouth Rock Crosses,
Satsumadori Dominant White Plymouth Rock Crosses and Oshamo Dominant White
Plymouth Rock Crosses in Growth and Taste

宮崎県の一部に古くから飼養され、食味が極めて良いとされる「地頭鶏」を素材とした特産鶏を作出し、宮崎県の特産品としての銘柄を確立する。

1. 試験方法

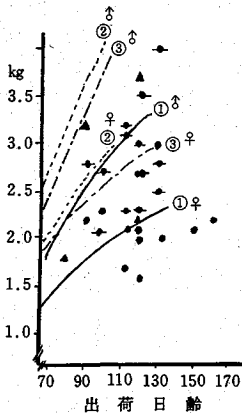
地頭鶏、地頭鶏と白色ロック (優性白、以下WRと記す)との交雑種、及び薩摩鶏、シャモとWRの交雑鶏の性能比較を行った。なお、官能検査については市販されているプロイラー肉とも比較した。この官能検査では、雄の大腿筋を、皮を除去した状態で一片10g程度の大きさに細切し、0.3%の食塩水10分間煮沸し、二点比較法で反復を設け、10～20名の非訓練のパネラーを使って各区を比較検討した。

2. 結果及び考察

現在市販されている特殊鶏の出荷体重と出荷日齢の分布図に、地頭鶏交雑鶏の体重の發育曲線を描いてみると地頭鶏交雑鶏の体重は市販特殊鶏のほぼ中心域に位置していたが、薩摩鶏やシャモ交雑鶏より低い傾向を示した(第1図)。また、飼料要求率は市販特殊鶏と似たような傾向を示した(第2図)。

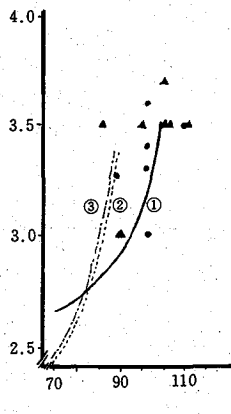
官能検査では、地頭鶏交雑鶏は純粋鶏と比較すると肉がかたく、好ましさは低下する傾向を示したが(第3図)、薩摩鶏交雑鶏よりやわらかく、好ましさでは遜色はなかった(第4図)。シャモ交雑鶏と比較するとやわらかさには顕著な差はなかったが、好ましさは地頭鶏交雑鶏の方が良好な成績を示した(第5図)。プロイラーとの比較では、プロイラーの方がやわらかいとする人が多かったが、好ましさでは地頭鶏交雑鶏の方が良いとする人が多かった(第6図)。

以上のように地頭鶏交雑鶏は、市販特殊鶏とはほぼ似たような發育パターンを示し、官能検査でも、市販されている一部の特殊鶏と同じ交配様式の交雑鶏(薩摩鶏×WR, シャモ×WR)とも遜色はなく、地頭鶏交雑鶏の市場性はかなり高いものと考えられた。ただ収益を高めるためには体躯をさらに大きくする必要がある。そこで今後は大型化を図るとともに飼料配合方法及び有色羽装についても考慮していきたい。



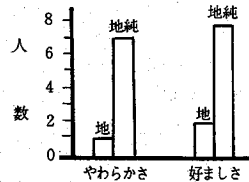
第1図 市販特殊鶏の出荷時体重分布と供試交雑鶏の發育曲線比較

注) ● ♂ ● ♀ ▲ ♂♀平均
① 地頭鶏 × WR ♂♀ —
② 薩摩鶏 × WR ♂♀ - - -
③ シャモ × WR ♂♀ ····

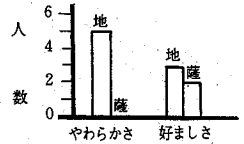


第2図 市販特殊鶏の飼料要求率分布と供試交雑鶏の飼料要求率曲線比較

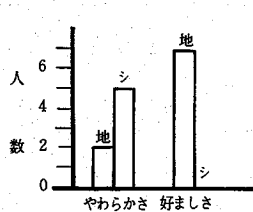
注) ● ♂ ● ♀ ▲ ♂♀平均
①, ②, ③は図1 脚注参照
♂♀の平均



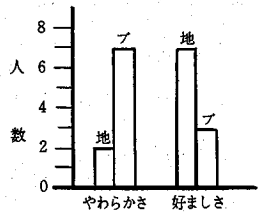
第3図 地頭鶏の交雑鶏と純粋鶏の食味性比較



第4図 地頭鶏交雑鶏と薩摩鶏交雑鶏の食味性比較



第5図 地頭鶏交雑鶏とシャモ交雑鶏の食味性比較



第6図 地頭鶏交雑鶏とプロイラーの食味性比較